

「高等教育機関設置に向けた意向調査」報告

南信州広域連合

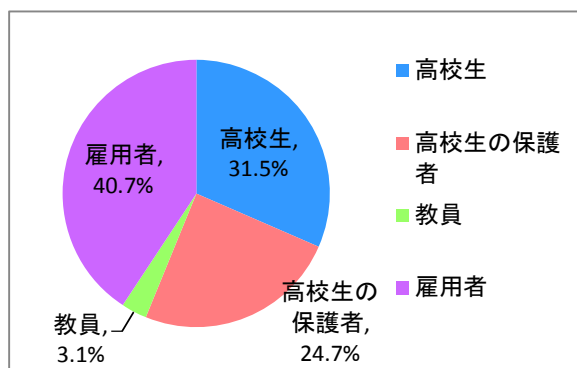
南信州広域連合では、地域の活性化のためには、将来を担う人材を育成することが最重要課題であると考え、高等教育機関の設置に向けた検討の取組みの第一歩として、地域にお住まいの皆様を対象に意向調査を行いました。

- I 調査の時期 平成24年12月～平成25年1月
- II 調査の方法 各産業分野の団体及び管内の高等学校9校を通じて調査票を配布し、郵送等により回収を行いました。
- III 調査対象者 高校生(1年生)及びその保護者、教員、企業経営者及び人事担当者等の雇用関係者(調査票の配布方法から、調査対象者の産業分野、業種等には一定の偏りがあります。)
- IV 調査項目 調査票は、高校関係者(高校生、高校生の保護者、教員)用と、雇用関係者用の2種類を作成しました。設問は、以下の調査結果のとおりです。
- V 回収率等 配布数:1,595通 回収数:1,002通 回収率:62.8%

VI 調査結果

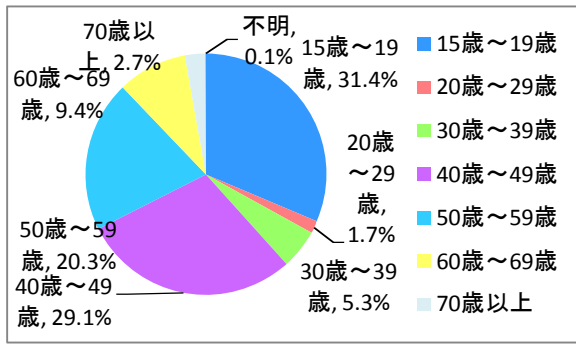
<高校関係者、雇用関係者 共通設問>

1 あなたの当てはまる項目に○印を付けてください。

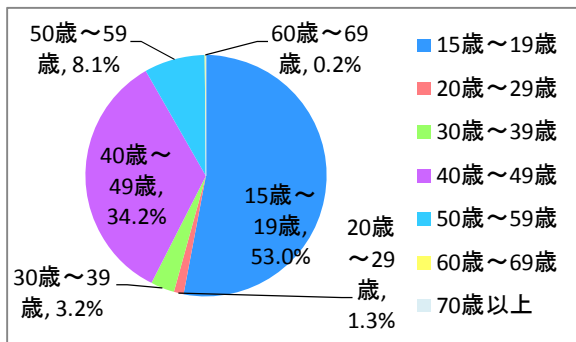


高校生	高校生の保護者	教員	雇用者	合計
316	247	31	408	1,002

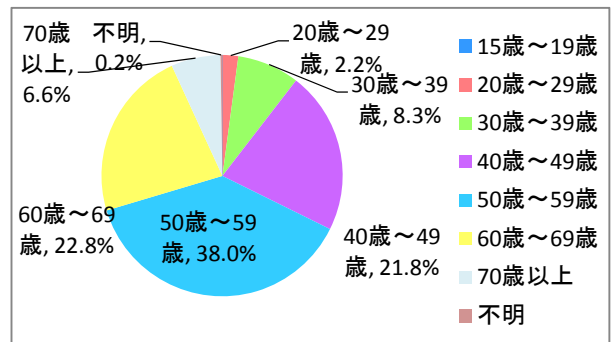
2 あなたの年齢について、当てはまる項目に○印を付けてください。



高校関係、雇用関係者 合算



高校関係者

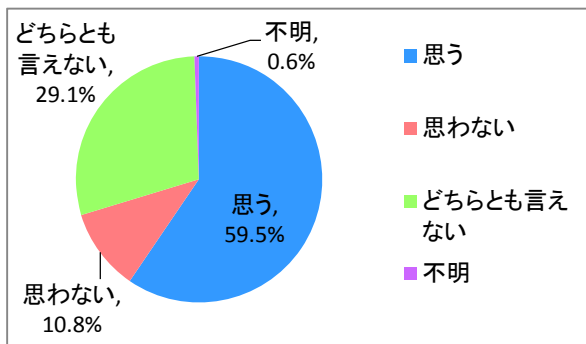


雇用関係者

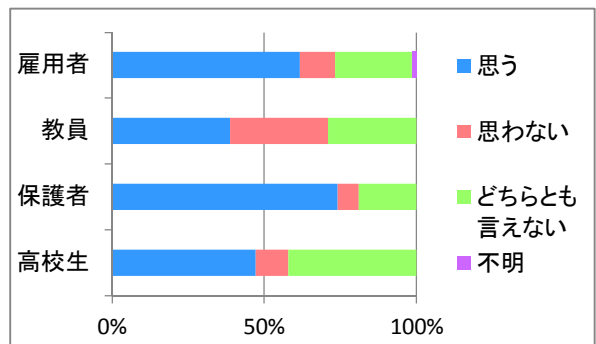
	15歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳
高校関係者	315	8	19	203	48	1
雇用関係者	0	9	34	89	155	93
合計	315	17	53	292	203	94

	70歳以上	不明	合計
高校関係者	0	0	594
雇用関係者	27	1	408
合計	27	1	1,002

3 あなたは、この地域(飯田・下伊那)に高校卒業者の進学先となる高等教育機関が、もっと必要だと思いますか。



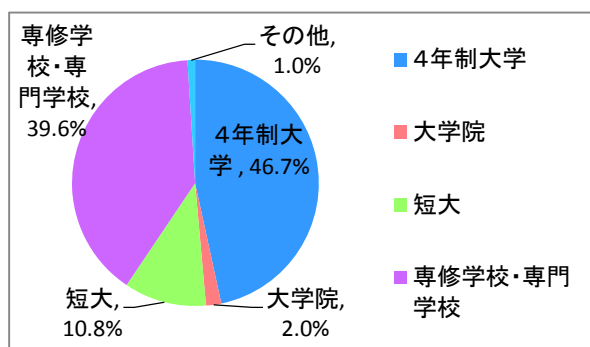
高校関係、雇用関係者 合算



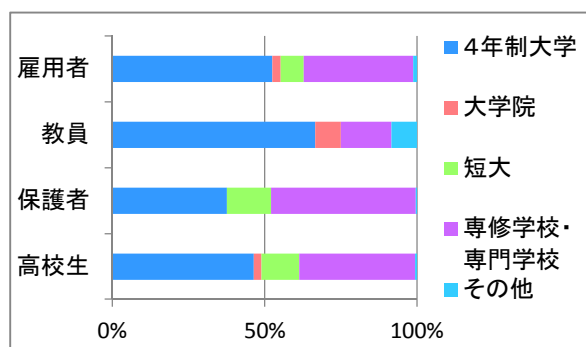
高校関係区分・雇用者別

	思う	思わない	どちらとも言えない	不明	総計
高校生	149	34	133	0	316
保護者	183	17	47	0	247
教員	12	10	9	0	31
雇用者	252	47	103	6	408
総計	596	108	292	6	1,002

4 3で「思う」と答えられた方に伺います。
どの様な高等教育機関があれば良いと思いますか。



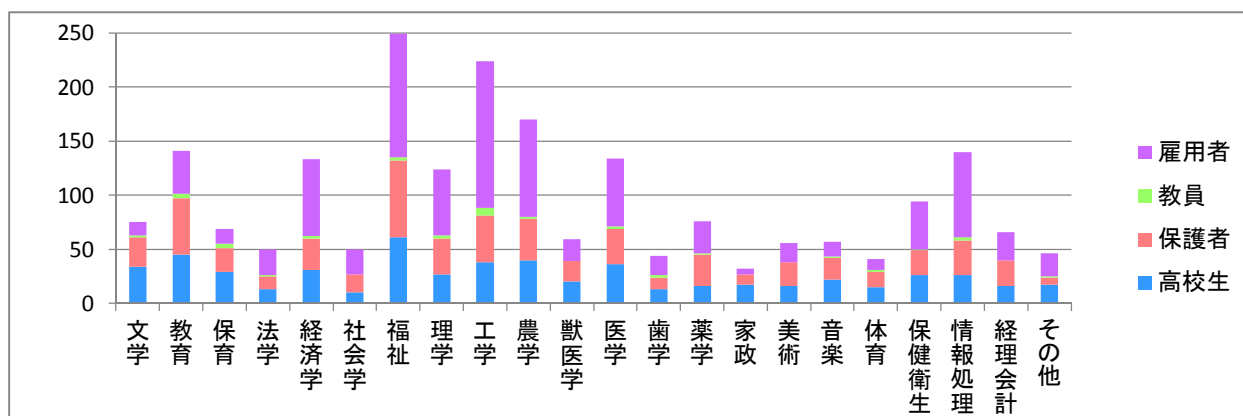
高校関係、雇用関係者 合算



高校関係区分・雇用者別

	4年制大学	大学院	短大	専修学校・専門学校	その他	総計
高校生	71	4	19	58	1	153
保護者	70	0	27	88	1	186
教員	8	1	0	2	1	12
雇用者	133	7	19	91	3	253
総計	282	12	65	239	6	604

5 3で「思う」と答えられた方に伺います。
どの様な分野の高等教育機関があれば良いと思いますか。(複数回答可)



	文学	教育	保育	法学	経済学	社会学	福祉	理学
高校生	34	45	29	13	31	10	61	27
保護者	27	52	22	12	29	17	71	33
教員	2	4	4	1	2	0	3	3
雇用者	12	40	14	24	71	23	114	61
総計	75	141	69	50	133	50	249	124

	工学	農学	獣医学	医学	歯学	薬学	家政	美術
高校生	38	40	20	36	13	16	17	16
保護者	43	38	19	33	11	29	10	22
教員	7	2	0	2	2	1	0	0
雇用者	136	90	20	63	18	30	5	18
総計	224	170	59	134	44	76	32	56

	音楽	体育	保健衛生	情報処理	経理会計	その他	総計
高校生	22	15	26	26	16	17	568
保護者	20	14	23	32	24	7	588
教員	1	2	1	3	0	1	41
雇用者	14	10	44	79	26	21	933
総計	57	41	94	140	66	46	2,130

◎5 の「その他」の回答内容

回答内容	人数
・製菓	【高校生(3)】
・調理	【高校生(2)、保護者(1)、雇用者(2)】
・食品加工	【高校生(1)、保護者(1)】
・理美容	【高校生(2)、教員(1)、雇用者(1)】
・環境や民俗、地域の特色を生かしたもの	【高校生(1)、保護者(1)、雇用者(1)】
・看護	【雇用者(4)】
・旅行、観光	【雇用者(7)】
・林業	【雇用者(2)】
・ホスピタリティー科、接客サービス	【雇用者(2)】

など。

6 3で「思わない」と答えられた方に伺います。

その理由は何ですか。

回答内容	人数
・特に必要と思わない、今のままでも十分選択肢がある。	【高校生(13)、保護者(1)、教員(3)】
・少子化だから、人口的に無理では。	【高校生(1)、保護者(3)、教員(2)、雇用者(9)】
・地方私立大学などは経営が困難で閉校に追い込まれている。	【高校生(1)、教員(2)、雇用者(10)】
・できたとしても、その後の出口補償が万全と言えない。リニアができれば、関東・中京が通学飯伊となりえる。	【高校生(1)、教員(2)】
・飯田女子短期大学がある。女子短期大学を充実すべき。	【高校生(2)、雇用者(1)】
・学生が集まらないと思う。	【高校生(5)、保護者(2)】
・よほど魅力がある教育内容や、良い指導者がいなければ、学生が集まると思えない。	【雇用者(7)】
・希望する大学でないと行かない。	【高校生(4)、保護者(2)】
・親元を離れて経験してみるべき。	【高校生(3)】
・親元を離れて生活することも大事な勉強だと思っており、大学進学だけが人生勉強ではない。進学だけに重きを置くべきではないと思う。	【保護者(4)、雇用者(1)】
・優秀な生徒ほど外に出ていくし、地域に縛りつける必要はない。	【雇用者(2)】
・東京、名古屋ほか他地域に充分あり、大学の乱立は無意味。	【雇用者(7)】
・にわか仕込みやレベルの低い大学では無意味。	【雇用者(3)】
・高校卒業後の就職先企業誘致や地域産業育成の方が先決。	【雇用者(2)】
・この景気の中、新たに行政のお金や、地域の経費負担増でつくることはない。	【雇用者(2)】

など。

7 あなたがこの地域で取得が出来ると良いと思う資格があれば、お書きください。

回答内容	人数
・医療、介護、福祉に役立つ資格	【高校生(4)、保護者(6)、雇用者(11)】
・医師	【高校生(2)、保護者(2)、雇用者(9)】
・看護師	【高校生(4)、保護者(4)、雇用者(13)】
・准看護師	【雇用者(5)】
・医療系の検査技師	【高校生(1)、保護者(2)、雇用者(2)】
・薬剤師	【保護者(4)、雇用者(4)】
・歯科衛生士	【高校生(1)、雇用者(2)】
・理学療法士、作業療法士、言語療法士、音楽療法士	【保護者(5)、教員(1)、雇用者(10)】
・社会福祉士、介護福祉士	【高校生(2)、保護者(5)、教員(1)、雇用者(9)】
・調理師	【高校生(9)、保護者(2)】
・管理栄養士	【高校生(2)、保護者(3)】
・保育士	【高校生(2)、保護者(1)、雇用者(1)】

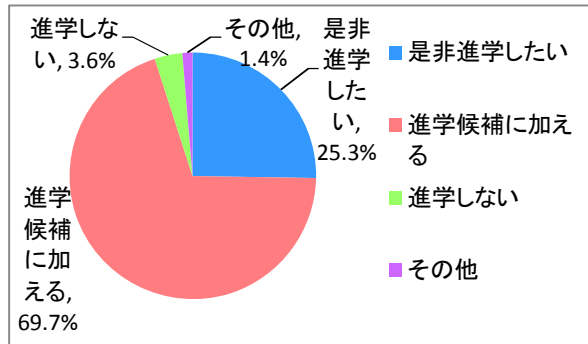
回答内容	人数
・工業系、情報	【保護者(3)、教員(2)、雇用者(1)】
・理学系	【雇用者(2)】
・工学系	【雇用者(4)】
・建設関係	【雇用者(2)】
・建築士	【高校生(1)、雇用者(1)】
・測量士	【雇用者(2)】
・施工管理士(電気、管工事、建築)	【雇用者(2)】
・農業関係、林業関係	【高校生(2)、保護者(2)、雇用者(4)】
・公害防止管理士・作業環境測定士	【雇用者(2)】
・理容・美容師	【高校生(2)、保護者(4)】
・経理・会計	【高校生(2)、保護者(1)、雇用者(3)】
・弁護士	【雇用者(2)】
・教員免許	【保護者(8)】
・経営学	【雇用者(3)】
・語学、TOEIC	【雇用者(2)】

など。

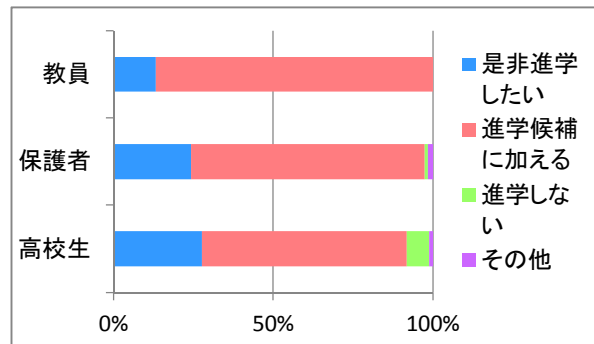
<高校関係者 単独設問>

8 4と5に回答された方に伺います。

あなたは、4と5で回答した教育機関がこの地域にできたら、進学しますか。
(教員又は保護者の方は、生徒やお子さんの就職先への希望としてご記入ください。)



高校関係者合計



高校関係者区分別

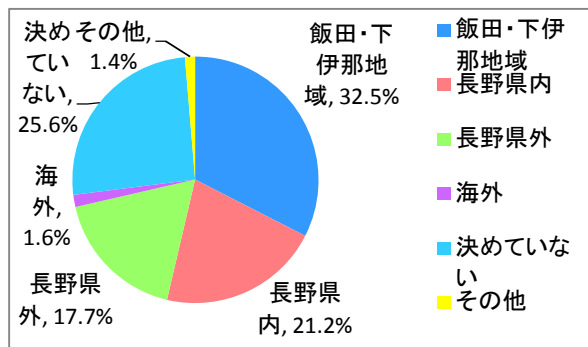
	是非進学したい	進学候補に加える	進学しない	その他	総計
高校生	44	102	11	2	159
保護者	45	136	2	3	186
教員	2	13			15
総計	91	251	13	5	360

◎「その他」の回答内容

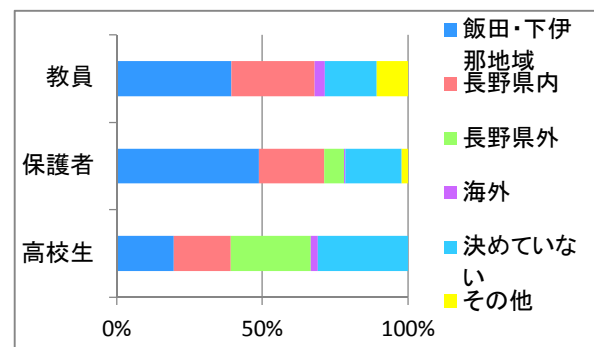
回答内容	人数
進みたい学科があれば、興味が持てれば	【高校生(1)、保護者(1)】
その時になってみないと分からない	【保護者(1)】

9 あなたは、どこで就職したいですか。

(教員又は保護者の方は、生徒やお子さんの就職先への希望としてご記入ください。)



高校関係者合計



高校関係者区分別

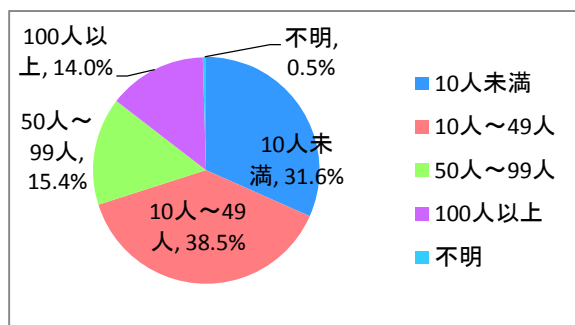
	飯田・下伊那地域	長野県内	長野県外	海外	決めていない	その他	総計
高校生	60	60	84	7	95	0	306
保護者	113	52	16	1	45	5	232
教員	11	8	0	1	5	3	28
総計	184	120	100	9	145	8	566

◎「その他」の回答内容

回答内容	人数
・望むところで働いてほしい	【保護者(1)、教員(2)】
・職種に合った地域であればどこでもよい	【教員(1)】
・飯田、下伊那地区以外	【保護者(1)】
・国内	【保護者(1)】

<雇用関係者 単独設問>

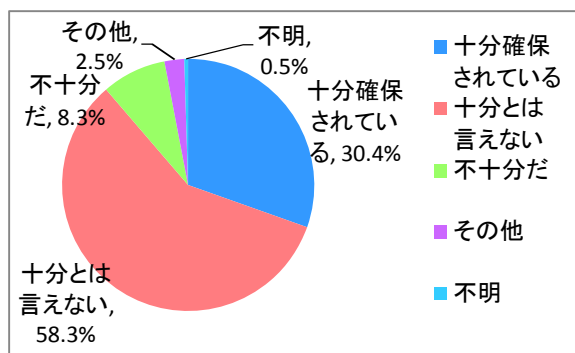
10 あなたが所属する企業、事業所、団体等の規模(従業員数)について、当てはまる項目に○印を付けてください。



10人未満	10人～49人	50人～99人	100人以上
129	157	63	57

不明	合計
2	408

11 あなたの仕事や事業での人材確保の状況はどうか。



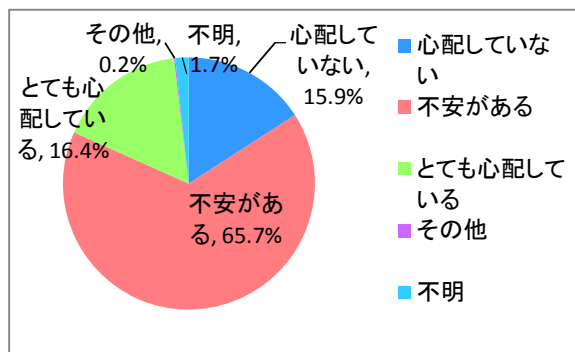
十分確保されている	十分とは言えない	不十分だ	その他
124	238	34	10

不明	合計
2	408

◎「その他」の回答内容

回答内容	人数
・家族経営のみ	【雇用者(2)】
・仕事が減少しているため確保されている	【雇用者(1)】
・海外へのシフトで仕事量不足で必要無い	【雇用者(1)】
・総人数は足りているが優秀な人材は不足	【雇用者(4)】
・不十分 特に専門職は難しい	【雇用者(1)】
・職種によって不十分な状況がある	【雇用者(1)】
・将来的に不安あり	【雇用者(1)】

12 あなたの仕事や事業における将来の人材確保の見通しについて、どう感じていますか。



心配していない	不安がある	とても心配している	その他
65	268	67	1

不明	合計
7	408

<高校関係者、雇用関係者 共通設問>

13 この地域への高等教育機関の設置について、あなたのご意見をお書きください。

<高校関係者>

<<設置に関して肯定的な意見>>

・高等教育機関が少なく県外へ出ていく学生が多い。必要だ(あっても良い)。	【高校生(14)、保護者(5)、教員(2)】
・家から通えるから進学する人が増えると思う。	【高校生(2)、保護者(2)】
・進学先の選択肢が増えるとともに、飯田下伊那地域の経済が発展すると思われる。地域が活気づくために必要だと考える。	【高校生(5)、保護者(11)、教員(4)】
・若者が出て行ってしまうことはとても残念。できれば子どもと近くで暮らしたいと思う。そのためには高等教育機関が必要で、就職先も増えると良いと思う。	【保護者(4)】
・通学圏外になってしまうと、生活費の負担がとて重くなり、進学先を選ぶ際に選択肢も狭くなる。家庭の経済(所得)の格差がそのまま学力の格差につながる。高等教育機関ができればぜひ通わせたい(通いたい)。	【高校生(2)、保護者(5)】
・私学の経営は難しいと思う。公立の機関があったら良い。	【高校生(1)、保護者(5)、教員(1)】
・この地域にある企業に就職できるような高等教育機関があると良いと思う。また、一般的な学部よりも、工業系や福祉関係の専門的な学部・専門学校が良いと思う。	【保護者(6)、教員(1)】
・飯田女子短期大学があるが、男子の進学先が飯田下伊那にはないので、男子の通える大学があったら良い。	【保護者(8)、教員(1)】
・大都市と連携できるような学校があると良い。	【保護者(2)】
・身近に進学先が増えれば学力向上にもつながり、良いことだと思う。	【保護者(2)】
・予算や土地があるならば設置してもらいたい。	【高校生(2)】

<<設置に関して否定的な意見>>

・今の段階では必要と思わない。	【高校生(5)、保護者(3)】
・自分に合った偏差値、十分な設備の機関でないと進学しない。	【高校生(1)、教員(1)】
・少子化の中で全国的に経営が苦しい状況にある学校が増加していることを考えると新設は難しい。	【保護者(2)、教員(2)】
・名乗りを上げてくれる大学(設置者)があるか、場所があるか、学生が集まるか。全て難しそう。	【保護者(2)、教員(1)】
・学校を設置してもその受け皿となる就職先がない。近年、学校が乱立し経営が成り立たなかったり、進路に責任を持っていないような学校が多い。大学を設置すれば良いという安易な考え方が多いと思う。	【高校生(1)、保護者(3)、教員(2)】
・素晴らしい技術や知識を身につけることができるなら良いが、就職先が見つからないようでは困るので、中途半端なものなら必要ない。	【保護者(3)】
・あっても、なくても、「進学」=「家を出る」という形は同じ。	【保護者(2)】
・学生が集まるような魅力ある大学、進みたい学科がないとやっていけない。	【保護者(3)】
・教育機関を増やしても地元へ就職ができるとは限らないし、それよりも現在ある高等学校等で専門的な資格や試験を受けられる体制があった方が良い。	【保護者(1)】
・新しく学校をつくるよりも、現在ある小中学校の校舎や体育館をきれいにした方が良い。	【高校生(2)】

<<その他の意見>>

・高等教育機関を設置することによるメリットはあると思うが、定員確保の問題についてはどのように対処するのか。	【教員(3)】
・進学だけに力を注ぐのではなく、その後に生かされる仕事があることが大切。子どもたちが社会貢献(仕事)することで、自分の価値を高められるような地域にしていくことが大切。	【保護者(3)】
・大卒求人が地元で確保されなければ人材は流出していくので、ぜひ雇用問題と併せて検討してほしい。	【保護者(2)、教員(1)】
・地元優先して就職できるように、企業とのつながりを持った機関があればうれしい。	【教員(2)】
・受入れる企業(就職先)の確保も課題と思う。企業誘致や新規事業への支援など、考慮が必要だと思う。	【保護者(3)】
・若者が戻ってこない大きな理由の一つは、雇用が少ないこと。高等教育機関の設置より先に、その先の出口の就職問題の解決を考えてもらいたい。	【保護者(1)、教員(2)】
・地元事業所に魅力のアピールが不足していることが定着率を下げていると思われる。	【保護者(1)、教員(1)】
・教育や社会性など都市部と比べるといろいろな面で遅れている気がする。	【保護者(2)】
・交通の便が良ければ多少離れていても通学できる。	【保護者(3)】

など。

<雇用関係者>

《設置に関して肯定的な意見》

・他地域から人が来ることや若者が集まることで、地域や経済が活発化すると思う。	【雇用者(21)】
・高校卒業後、地域を出てそのまま職についてしまう人が多いと考えます。地域の優秀な中・高校生を流出させないことは重要で、人口増につながります。	【雇用者(19)】
・身近に教育機関の選択肢があれば、親の経済的負担が軽減され、それによる子供の選択肢が増える。	【雇用者(8)】
・おいしい水、おいしい空気の中で学べる事が、実はとても大事な事。外部からの人間はそんな所に敏感。	【雇用者(2)】
・この地域でニーズのある職種に関する学科を中心に学べる4年制大学の設立を希望します。	【雇用者(5)】
・総合大学は無理として一つの学部と関連学部。さらに研究機関(大手企業の機関も可)ができるとうい。	【雇用者(7)】
・特徴を絞り特化した単科大学が望ましい。	【雇用者(3)】
・男子も勉学できる施設が必要と思います。	【雇用者(3)】
・「あれもこれも」では結局何もできずない。地域性や強くしたい産業に対しての教育機関の設置が良い。	【雇用者(13)】
・子供の数が減少している中、新たな大学をつくることは無理。すでにある有名な大学(国立の総合大学である信州大学など)の飯田キャンパスを誘致することが肝要ではないか。	【雇用者(5)】
・「飯田下伊那には全国の中でも特徴的な人間が育つユニークな教育機能がある」と思われるような「総合人間学」を学べる機関があったらたのしいと思う。	【雇用者(2)】
・秋田の大学のようにグローバル化に対応する機関があれば良いと思う	【雇用者(2)】
・卒業後、社会人になった時に役に立つ(実践的な)高等教育機関を望む	【雇用者(3)】
・地場産業密着型で一旦社会に出た人やターン者でも学び直せる様な学校や、従業員が夜間、土日に通学できる語学の学校があるとうい。	【雇用者(4)】
・准看護師専門学校を設置を要望します。(県立看護大学生は地元へ就職せず都会へ就職してしまう。)	【雇用者(3)】
・高齢化社会を考えれば、医療、福祉の担い手を増やすことが道理にかなっていると思う。	【雇用者(4)】
・製造業が多いことから理工学系の技術者が養成できるような高等教育機関があると良いと思います。	【雇用者(9)】
・農山村地域の当地は将来に向けても農林業を基盤とした地域づくりが不可欠、(現在軽視されているが日本の将来にとっても国際的にみても大切な地域)農林業の担い手づくりが望まれる。	【雇用者(3)】
・観光・サービス等長野県内に必要な人材を育成できる学校を誘致し長野県内の観光の再生を。	【雇用者(3)】

《設置に関して否定的な意見》

・大学が設置されても学生が集まらず経営にゆきずまる。	【雇用者(17)】
・設置するのであれば、国公立レベルの教育機関が必要と思います。無名の教育機関を一から仕上げて運営は困難ではないでしょうか。	【雇用者(3)】
・教授や指導者の招聘が至難ではないか。	【雇用者(2)】
・少子化にてハード計画よりも、既存の施設(現在の女子短など)の内容を充実した方が良い	【雇用者(4)】
・長野県には信州大学、長野大学、東京理科大学等有り短大もそれなりに数が有ると思うので現在の少子化の中でこれ以上増やす必要はないと考えます。	【雇用者(4)】
・飯伊の高卒者が若い時に一度は他の地域での体験をすることもとても重要だと考えます。	【雇用者(3)】
・よほど特長をもち全国から学生が集まる大学が果たしてこの地にできるか疑問である。	【雇用者(8)】
・教育機関設置ありきでは意味が無い。	【雇用者(4)】
・少子化の時代、学生確保の為に全体のレベルが下がっては意味がない。	【雇用者(5)】
・税金をムダに使わないで下さい。子供達が本当に必要としている学校づくりをして下さい。	【雇用者(2)】
・教育機関があっても町全体に魅力が無いと若者は留らない。高等教育機関では問題解決にならない。	【雇用者(6)】

《その他の意見》

・若者がこの地域でいきいきと生活できる環境・職場があってほしい。	【雇用者(2)】
・高等教育機関を設置してもその卒業生を受入れる企業がなければ地域にとってプラス材料とはならない。高校等の段階で自分の進路を考えさせる、興味ある分野を発見させる教育、仕組みが重要と考える。	【雇用者(2)】
・理学・工学・農学・情報処理の分野は、食も含めたものづくりや、高度化していく社会システム、インフラとなるソフトウェアの品質の高度化によってものづくりの基盤となる領域であり、そうした分野で活躍する人材の育成こそ、この地域が担うべき高等教育機関の設置に整合すると考えます。	【雇用者(2)】
・設置は賛成だが、卒業後の就職先が無いと結果的に地域から離れてしまうので、製造業だけでなくこれからの時代に必要で、高い付加価値をもった製品なりサービスの産業の企業誘致や起業が先。	【雇用者(20)】
・高等教育機関の設置はできることなら大変結構ですが、昨今の全国的な乱立によって経営の維持、質の低下が心配される。当地方の人口、経済規模を見すえたビジョンが必要と思われる。	【雇用者(5)】
・高等教育機関があればうれしいと思いますが、他地域にない特色ある教育機関か、授業料や生活費の安い環境でないと応募される方はたとえ地元でも少ないのではないかと。	【雇用者(2)】
・特色あるなおかつ下伊那の地域状況に密着したもので、卒業後もこの地で就職できる。技術を生かせるものでなければ、設置をする意味がなくなってしまふ。	【雇用者(2)】
・4年制大学は現状は難しい。リニアと関連づける方法しかないと思う。	【雇用者(2)】
・飯田工業高校の有効活用を	【雇用者(3)】

など。